

## 今の私がある理由

佐藤 武史



私は大学入学を機に地元を離れ宮城県で生活しています。

いざ一人暮らしになると、自炊や洗濯などの家事に慣れないことばかりで、改めて両親への感謝の気持ちとありがたさに気づかされました。高校卒業までの18年間、当たり前のように温かいご飯を作って帰りを待ち、私が悩んでいる時には寄り添いたくさんの愛情を注いでくれた母。仕事で疲れ帰宅した時にそんな姿は見せずに剣道の稽古の送迎をかかさず、上手くいかない時には的確なアドバイスをくれる父の存在の偉大さを痛感しました。

私は、小学2年生から剣道を始め、ご縁があり仙台大学で続けています。現在の私の目標は、インターカレッジで結果を残して、これまでご指導くださった先生方、何不自由なく育つことができた玉川村、ここまで応援し続けさせてくれている両親へ結果で恩を返すことです。新型コロナウイルスの影響で1年半もの間稽古が出来ないという経験をしました。稽古ができることを当たり前と思わず周りの方々、環境に感謝しな

から一日一日を大切にしていきたいと思います。

また、幼い頃から警察官になるという夢は今でも抱いており、大学で警察官になるための勉学に励んでいます。実際に、元皇宮警察官の教授から警察官というものはどういうものかを深く学んでいます。知識だけでなく警察官にとって必要な護衛や応用実技、柔道、空手、合気道といったことも学んでいます。さらに、韓国へ一週間留学し、護衛・警護の仕方や文化や言語などの日本との違いを知り、これまで以上に自分の視野を広げ幅広く学びに取り組んでいます。外国では、毎日のように戦争やデモ活動が起きていてそのニュースを目にする度に、胸が苦しくなります。再び日本でも戦争が起きぬことを願うばかりです。国民が平和に暮らせる国作りの手助けが出来るような警察官になりたいと思います。そして、卒業後には玉川村へ戻り、これまでお世話になった地元へ恩返しを込めて村民にやさしく寄り添い安心して暮らせるような地域作りに努めていきたいと考えています。

これらの事を達成するために残りの2年間の大学生活を充実させ部活動、勉学に励み心身ともに成長させていきます。